



「永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた。
おとめイスラエルよ。わたしは再びあなたを建て直し、あなたは建て直される。(エレミヤ 31 : 3~4)」



エターナル・ラブ・イスラエルは、日本国内でユダヤ人に福音を伝える働きです。

- 事務局：〒226-0027 横浜市緑区長津田 7-17-16-503 TEL:090-8729-0856
- メール：eternalloveisrael@gmail.com ●ホームページ：http://eli.holy.jp
- 銀行口座：三菱東京UFJ銀行 武蔵新城駅前支店 普通預金 0909009 エターナル・ラブ・イスラエル
- 郵便振り込み：00200-9-79214 エターナル・ラブ・イスラエル



代表：宮本 純子

☆ 楽しかったプリムの祭り

宮本 純子 ☆



ハレルヤ！主の聖名を心から賛美いたします。
愛するみなさま。いつもお祈りと尊い献金でエターナル・ラブ・イスラエルを支えてくださり本当にありがとうございます。
ユダヤ人たちは毎年、エステル記のプリムの祭りをアダル月の14日にお祝いします。今年は、3月10日でした。



ユダヤ教の会堂シナゴークでは「メギラー」としてエステル記が朗読されます。その時に「エステル」と「モルデカイ」の名前が呼ばれると歓声をあげ、逆に宿敵である「ハマン」の名前が出てくる度にガラガラと音の鳴るオモチャを鳴らし、足を踏み鳴らして音を出します。私も一緒に音を立てたりしながらメギラーを読みました。

プリムは、子供も大人も仮装をする楽しいお祭りです。それは、エステルがユダヤ人であることを隠していたことにちなんでいます。

ハバッド東京の今年のプリムは、「UNDER THE SEA」というテーマでした。海の中なので、スキューバダイビングやお魚のコスチュームなどを身につけてとても楽しかったです。私は、人魚版エステル妃のつもりです。美味しいお料理と、プリムには欠かせない「オズネイ・ハマン(ハマンの耳)」という三角形のクッキーを頂きました。これはハマンが三角形の帽子をかぶっていたことにちなんでいます。そして、町中の貧しい人々に贈り物をするために献金をしました。



「あなたはすべてのユダヤ人から離れて王宮にいるから助かるだろうと考えてはならない。もし、あなたがこのような時に沈黙を守るなら、別の所から、助けと救いがユダヤ人のために起ころう。しかしあなたも、あなたの父の家も滅びよう。あなたがこの王国に来たのは、もしかすると、この時のためであるかもしれない。」エステル記4:13~14

エステルは、勇気を持って困難な状況を受け入れ、自分の命を危険にさらしてまで、ユダヤ民族のためにとりなしました。ペルシャが支配していた当時、無名の少女が王妃の座を得るなど偶然の出来事ではありません。エステルがユダヤ人であることを隠していたことも神様は用いられました。エステルがユダヤ人だと明かした時、ユダヤ民族全体の救いをもたらし、破滅から救ったのです。いつも背後で働かれている全知全能の神様に従ってこれからも歩み続けましょう。



☆ 自宅で祝った過越しの祭り ☆



新型コロナウイルスの感染拡大の影響で外出自粛、自宅待機の日々となりました。今までの日常が一変し、自由が奪われ、三密を守るために人と人との間に距離が出来ました。今まで当たり前のように過ごしてきた日常がいかに尊かったか改めて思われます。

コロナによってオリンピックも延期となり、あらゆるイベントが中止となりました。私は、描いた絵を出展する予定だった展覧会も中止が相次ぎました。

前回お知らせした6月7日のシャローム・コンサートも中止せざるを得なくなり、とても残念ですが、無観客コンサートという形で、賛美を YouTube か動画配信でお届け出来るようにと祈っています。随時、ホームページに掲載しますのでご覧ください。



今まで私は、ユダヤの祭りやイベントなどをユダヤ人と一緒に過ごす中で、クリスチャンとして証しし、ヘブライ語のトラクトなどを渡しながらユダヤ人伝道をしてきました。それがコロナによってイベントや集会も中止し、人と会うことさえ許されない状況となり、今までの伝道方法を変えていかななくてはならなくなりました。コロナ時代を迎え、伝道も生活もすべて変わり、急速にテクノロジーが進化し AI やキャッシュレス、オンラインが普及しました。

子どもの頃にアニメで見ていた近未来の世界がまさに、コロナによって始まったのです。

4月、過越しの祭りの食事会も全部中止となり、各自自宅でお祝いすることになりました。

東京のラビたちは、多くの在日ユダヤ人たちに過越しの祭りの食事(セデル)セットを郵送することになり大忙しでした。そして、オンラインで過越しの祭りをお祝いしました。神様は、ピンチをチャンスにしてくださいます！5月、神様は、イスラエルの日本語を学ぶユダヤ人たちや日本に興味を持つユダヤ人たちとオンラインでやりとりをするように導いてくださいました！ユダヤ人伝道の方法は、神様が最善に導いてくださいます！心から感謝致します！

☆「テルアビブから日本へ」写真コンテストで優秀賞 ☆



4月26日、イスラエル大使館主催【イスラエル料理レストランへご招待！「テルアビブの乗り物、日本へ」写真コンテスト】が開催されました。

イスラエルの経済・文化の中心地、テルアビブ。ここには市民に愛される様々な交通機関があります。テルアビブをベースに活動するグラフィックデザイナーのハガイ・ファラゴは、テルアビブ市とのコラボレーションのもと、そんな「テルアビブの乗り物」を自宅で楽しみながら製作できるペーパークラフトブックレットを作成しました。鮮やかな黄緑色のシェアサイクル、スカイブルーと白のツートンカラーが特徴的なダンバスなど “まさにテルアビブ” な乗り物のペーパークラフトを製作し、日本を感じる背景と共に写真を撮影し、日本文化とテルアビブを融合する企画。

私も応募し、優秀賞を頂きました。

タイトル「こどもの日を楽しむシャロームちゃん」。

「シャロームちゃんは、こどもの日を祝うために、テルアビブから自転車とスケーター、バスやタクシーに乗ってはるばる日本へやってきました！兜をかぶったり、美味しい柏餅も食べて大満足。外には鯉のぼりも見えます。」

ハガイ・ファラゴ作「テルアビブに行こう」ワークブックは、とても緻密で素晴らしい作品です。まるでテルアビブを旅するような気分で、楽しく切り貼りしてテルアビブ

のバス停、バスやタクシー、自転車とスケーターなどをすべて工作しました。

外出自粛の中、このような楽しく過ごす機会を与えてくださった神様に心から感謝致します。

☆アート・ミニストリーより☆

外出自粛、ステイホームの毎日の中、絵を描くことが出来ました。絵と聖書の御言葉をフェイスブックやInstagram、ホームページにアップしたところ、たくさんのユダヤ人の方が見てくださり、反応してくれました。

ユダヤ人に絵を通して福音を伝えることが出来て感謝です。ポストカードの作成や、展覧会や公募展に再び出展し、多くの方々に見て頂けますように。アート・ミニストリーが神様に用いられますようお祈りください。



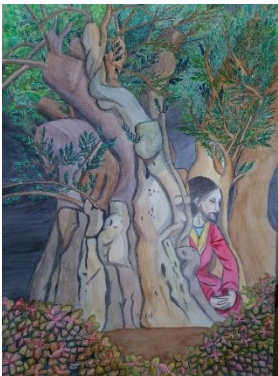
「ライオンと小羊」



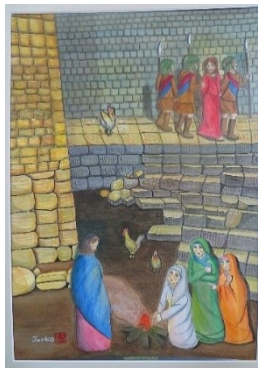
「オアシス」



「星に導かれて」



「ゲッセマネの祈り」



「鶏鳴」



「罪なき者が」

☆2019年1月1日～12月31日 会計報告☆

(収入)		(支出)	
前年繰越	614,400	伝道費	37,449
献金	1,047,365	印刷費	49,408
		通信費	135,942
		外注費	13,240
		諸会費	120,000
		事務用品費	40,605
		支払手数料	11,928
		次年度繰越	1,253,193
合計	1,661,765	合計	1,661,765



☆愛するみなさま。いつもエターナル・ラブ・イスラエルの働きのために尊い献金をくださりまして、心から感謝いたします。皆さまからの尊い献金は、ユダヤ人伝道のために、キリストの愛を伝えるために支援やプレゼントなどにも用いさせていただきます。日本でユダヤ人がイエス様を信じて救われますように活動してまいります。

愛するみなさまの上に、神様の祝福と恵みが豊かにありますよう心からお祈り申し上げます。

☆祈りのリクエスト☆

「エルサレムの平和のために祈れ。『おまえを愛する人々が栄えるように。おまえの城壁のうちには、平和があるように。おまえの宮殿のうちには、繁栄があるように。』」(詩篇 122:6~7)



☆神様の深遠なるご計画の中で特別に選ばれ、愛されているユダヤ民族、平和の町であるエルサレム、イスラエルの平和が守られ、神様の計画と御心だけが成ります様に。

☆イスラエルの国政政治、国内情勢のためにお祈りください。

☆世界中の政治的指導者たちが、神様からの正しい知恵と判断力が与えられ、神様の御心に従って政治を平和に進めて行く事が出来ます様に。

☆新型コロナウイルスの感染拡大が世界中から一刻も早く収束しますように。コロナ禍の中で、イエス様を信じて救われる魂が世界中で多く起こされますように。神様のご介入と助けを切に祈り求めます。

☆「エル・アル航空」は、日本とイスラエルを結ぶ直行便を3月に就航予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で、8月29日に就航延期となりました。コロナによって海外渡航がストップし、観光旅行や講演会、イベントなどさまざまな影響が出ています。一日も早くコロナ禍が終焉し、イスラエルと日本との交流と親睦が一層盛んになりますようにお祈りください。

☆東京2020オリンピック、パラリンピックの開催が来年に延期となりましたが、神様が最善に導いてくださいますようにお祈りください。

☆世界中に住んでいるユダヤ人に福音が伝えられ、全てのユダヤ人がイエス様を信じて救われます様に。

☆イエス様を信じているメシアニック・ジューの一人一人の信仰を強めてくださり、イスラエルがリバイバルされます様に。又、日本がリバイバル、世界中がリバイバルされて、神様の御心がこの地に成ります様に。

☆在日ユダヤ人、又、日本を訪問し滞在するユダヤ人にトラクトも用いられ、多くのユダヤ人がこの日本で、イエス・キリストに出会い救われます様に。その為に私達が情熱を持って、神様の愛でおもてなしをし、伝道する事が出来ます様に用いて下さい。又、ユダヤ人伝道の重荷を持つ後継者達が起こされます様に。

☆日本のクリスチャンの霊的な目が開かれてユダヤ人伝道について正しく理解し、イスラエルの回復のために神様の御心に従って祈っていくことが出来ますように。

☆2020年夏のユダヤの祭り☆



☆7月30日 ティシャ・ベ・アブ(神殿崩壊日)

ヘブライ語で、ティシャとは9、ベアヴとはアヴの月という意味です。伝承によれば、紀元前586年のこの日にバビロニア人によってエルサレムの神殿が破壊され、その後建てられた第二神殿も紀元70年のこの日にローマ人によって破壊されたと言われます。ユダヤ民族最大の悲劇の日として記憶されています。

旧約聖書には最初の神殿が失われて、国が滅んだ出来事は書かれていますが、この記念日を守れとの定めはありません。この日は、贖罪日(ヨム・キプール)について重要な断食の日です。信仰熱心な人は、悲しみを表すためにこの日だけでなく、この月の最初の9日間、肉食を控え、服喪のしきたりを守り、あるいは髭や剃ったり髪を切ったりしません。エルサレムでは、嘆きの壁で大勢の人々が祈りを捧げます。また、前夜からシナゴグに集まって、葬式に参列するような雰囲気やしきたりで礼拝式を執り行ないます。

2020年6月夏号発行(季刊誌)